

常磐井和子著

源氏物語古系図の研究

笠間書院刊

常磐井和子(ときわい かずこ)(旧姓長谷川)

昭和6年、東京に生まれる。

昭和30年、学習院大学卒業。

昭和32年、学習院大学大学院修士課程修了。

昭和37年、日本大学文理学部国文学専攻博士課程入学、40年、同課程修了。

著書：『源氏物語の研究』昭和32年、東宝書房

現住所：☎ 514-01 三重県津市一身旧町 742

(文部省研究成果刊行助成図書)

源氏物語古系図の研究

昭和四十八年三月三十一日発行

定価 七五〇〇円

著者 常磐井 和子

東京都江東区毛利二ノ七ノ五ノ八一三
発行者 池田 猛雄

東京都江戸川区船堀二ノ八ノ七
写植者 飯島 幸彦

東京都新宿区東五軒町一八

印刷者 森本 玄三男

東京都文京区音羽一ノ二二ノ一九

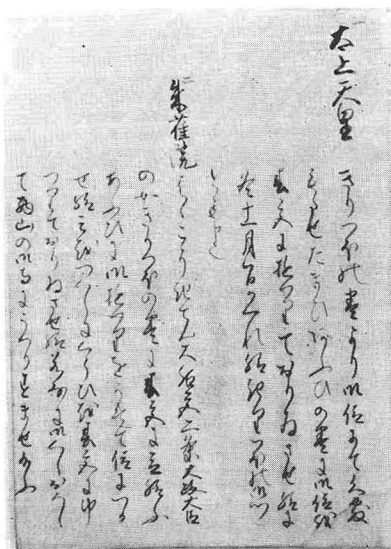
製本者 手塚 貞造

発行所 有限 笠間書院

東京都千代田区神田神保町一ノ四六
電話 東京(〇三)二九四一〇九九六
振替口座 東京 五六〇〇二

3093-954011-0924

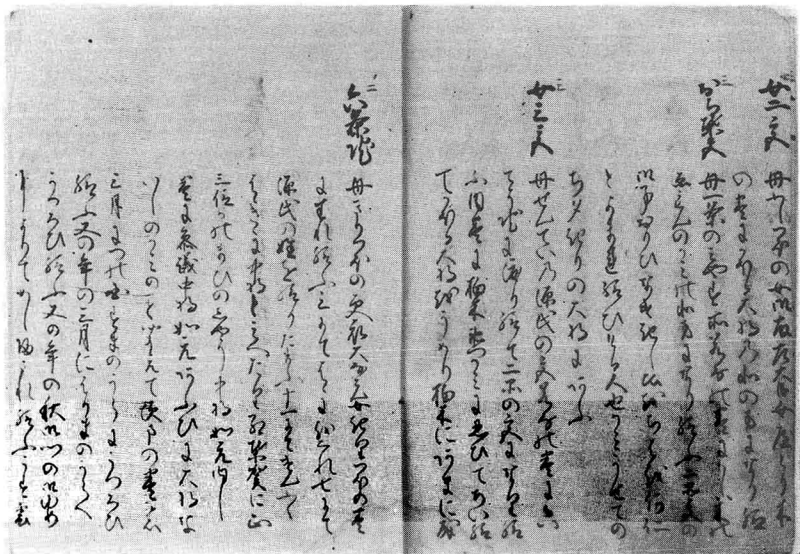
イイジマ・トレース/モリモト印刷/手塚製本所



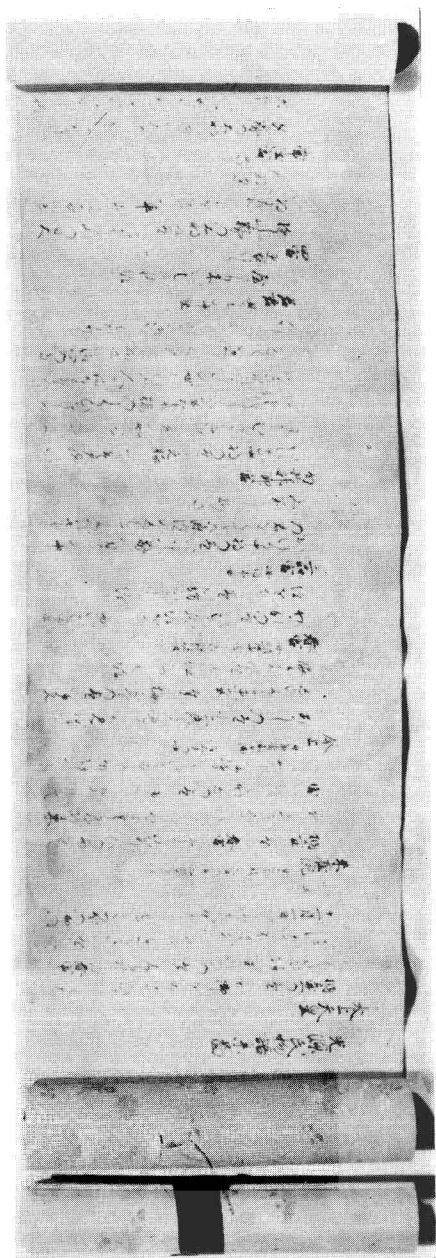
秋香台本古系図第一丁



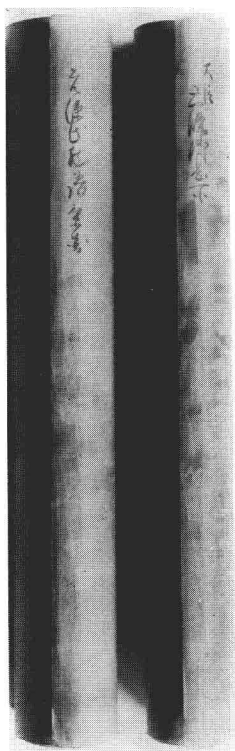
秋香台本古系図表紙



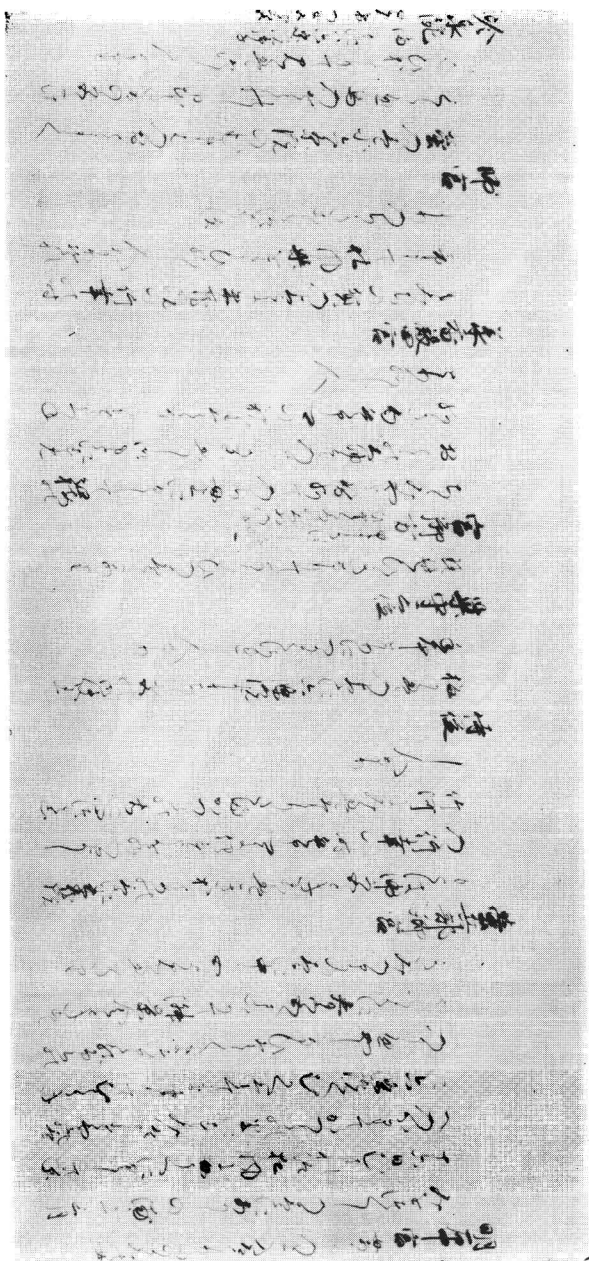
秋香台本古系図



伝 清水谷実秋筆 C 本



伝清水谷実秋筆 B 本



Handwritten notes in Chinese, likely bleed-through from the reverse side of the page. The text is arranged in several horizontal lines across the right half of the document.

[The page contains dense handwritten notes in Chinese, which are mostly illegible due to blurring and bleed-through from the reverse side. The handwriting appears to be cursive.]

阿含部	阿含部	阿含部
阿含部	阿含部	阿含部
阿含部	阿含部	阿含部
阿含部	阿含部	阿含部
阿含部	阿含部	阿含部
阿含部	阿含部	阿含部
阿含部	阿含部	阿含部
阿含部	阿含部	阿含部
阿含部	阿含部	阿含部
阿含部	阿含部	阿含部
阿含部	阿含部	阿含部
阿含部	阿含部	阿含部
阿含部	阿含部	阿含部
阿含部	阿含部	阿含部
阿含部	阿含部	阿含部
阿含部	阿含部	阿含部
阿含部	阿含部	阿含部
阿含部	阿含部	阿含部
阿含部	阿含部	阿含部

源氏物語古系図の研究

源氏物語古系図の研究
目次

第一章 源氏物語古系図概説	一
---------------	---

第二章 源氏物語古系図の成立

一 源氏物語古系図の成立	九
(1) 源氏物語古系図の成立時期	九
光源氏物語本に見える「譜」について	一四
(2) 源氏物語古系図の作者について——臆説の蓋然性——	二〇
古系図と宗尊親王の業績	二八
古系図関係略年表	四三
二 源氏物語古系図の組織	四五
(1) 題号	四五
(2) 序文	四六
(3) 系譜	五一
(4) 不入系図	五四

(5) 有歌無名輩……………五

(6) 付載事項……………五

三 人名呼称の示す問題……………六〇

右近将監について……………六九

夕霧の最終官位について……………八一

古系図諸本人名呼称一覧表……………九五

四 古系図諸本に於ける増補の実態……………一〇八

第三章 源氏物語古系図の諸本

一 九條家本系統の諸本……………一三七

(1) 九條家旧蔵本古系図……………一三七

九條家本裏書の検討……………一四二

(2) 秋香台文庫本古系図……………一六二

(3) 伝二條為定筆本古系図……………一六七

為定本古系図後付雑録の検討……………一六九

為定本古系図後付雑録校合例……………一七九

為定本後付雑録……………一八六

(4) 未見の諸本の可及的推定……………一九三

1 三條西家本源氏物語古系図：一九

2 伝後京極良経筆本：一九

二 九條家本系統以外の諸本…………… 104

- (1) 伝二條為氏本古系図…………… 104
- (2) 東京大学国文学研究室藏古系図…………… 106
- (3) 伝清水谷実秋筆本古系図…………… 111
 - 1 伝清水谷実秋筆 A 本……… 113
 - 2 伝清水谷実秋筆 B 本……… 113
 - 3 伝清水谷実秋筆 C 本……… 114
- (4) 日本大学藏本古系図…………… 111
- (5) 神宮文庫本古系図…………… 114
- (6) 学習院大学蔵(三條西家旧蔵)本古系図…………… 116
- 学習院大学蔵本古系図序文…………… 117
- 学習院大学蔵本後付雜載…………… 118
- (7) 天理図書館蔵本古系図…………… 119
- (8) 正嘉本古系図…………… 120
- 大成所収本正嘉本古系図…………… 121
- 正嘉本古系図に見える異本との考異…………… 122
- 正嘉本古系図奥書について…………… 124
- 宇治中君か中宮か…………… 125
- 古系図諸本に於ける有歌無名輩の項について…………… 126

(9)	後光厳院宸翰本古系図……………	二六七
(10)	源氏物語巨細……………	二七〇
(11)	天文本古系図……………	二七六
(12)	未見の諸本について……………	二七九
	1 伝越部禪尼筆本源氏物語系図……………三九	
	2 吉野吉水院藏源氏物語系図……………三九	
	3 大島本源氏物語系図二冊……………二六〇	
	4 永祿本源氏物語系図・吉田梵舜自筆源氏物語系図……………二八	
	付 古系図奥書拾遺……………	二八一

第四章 源氏物語の問題点

一	巢守物語論……………	二六七
(1)	すもり三位の系図上の位置……………	二八九
(2)	巢守三位の物語……………	二九一
(3)	まとめ……………	二九八
	資料……………	三〇三
二	匂宮・紅梅・竹河三帖の論……………	三〇九
(1)	音楽の伝流……………	三一
(2)	人物系譜の類型……………	三六
(3)	正篇の記事との照応……………	三三
(4)	結語……………	三八

第五章 翻刻

一	秋香台本古系図……………	三三一
二	伝清水谷実秋筆本古系図……………	三六一
三	神宮文庫本古系図……………	四一七
参 考 文 献……………		四六五
あ と が き……………		四六七